

広 報

# こうさ

【特集】第57回熊日金婚夫婦表彰

## 50年間夫婦ともに歩んだ道

### CONTENTS

- 04・トピックス 甲佐中学生が農業体験学習
- 06・こうさの話題 平成27年度100歳到達者10人へ祝状を贈呈
- 08・町からのお知らせ 農機具導入補助の要望を受け付けます
- 10・私のおすすめ図書 市下克幸さん（下横田区）
- 20・Kosa Style 市民ランナー・坂本健次さん（上豊内区）

No.555

October 2015

10



# 苦楽を共に 歩んできた 夫婦の50年

第57回熊日金婚夫婦表彰

## ●夫婦で歩んだ50年を表彰

9月15日（火）町生涯学習センター・ホールで、第57回熊日金婚夫婦表彰が行われました。

熊本日日新聞社が主催。今年は、昭和40年に結婚した夫婦34組（うち25組出席）が表彰されました。

式典では、同社社長代理の池下敬一郎事業部長が、表彰者代表の本田政武さん・榮子さん夫妻（早川区）に、表彰状と記念品を贈呈。奥名克美町長が「豊富な知識と経験を後輩のわれわれに継承していただき、今後もまちづくりにおけるご指導とご協力をよろしくお願いいたします。今後ともご夫婦ともども、ますますのご長寿とご多幸をお祈りします」とあいさつし、表彰状と記念品を1組ずつ贈呈しました。

出席者を代表して本田さんご夫婦が「本日は、このようなお祝いの席を設けていただき、誠にありがとうございます。この50年、喜びも悲しみも共に分かち合い苦労を夫婦で乗り越えてきました。この感激を励みに健康に留意し、互いに支え合い、周囲の皆さんのご恩に報いるために経験と知識を生かし、郷土のために支えていきたいと思えます」と謝辞を述べました。



西本 二郎 さん (岩下一区)  
レイ子 さん



田中 勝廣 さん (岩下一区)  
サミ子 さん



楠本 泰山 さん (岩下一区)  
美奈子 さん



安廣 義男 さん (仁田子区)  
ミエ子 さん



佐藤 良一 さん (仁田子区)  
重子 さん



井芹 鈴秋 さん (仁田子区)  
トシ子 さん



河内 和征 さん (緑町区)  
八枝子 さん



坂田 幸治 さん (下横田区)  
美瑛子 さん



金柿 正照 さん (下横田区)  
京子 さん



西村 睦弘 さん (有安区)  
榮子 さん



緒方 正 さん (横田区)  
美代子 さん



溜湊 一吉 さん (上早川五区)  
治子 さん



北川 長勝 さん (上早川四区)  
文子 さん



松下 哲三 さん (浅井区)  
繁子 さん



塚原 美臣 さん (浅井区)  
壽万子 さん



野口 正憲 さん (津志田区)  
幸子 さん



福田 誠至 さん (麻生原区)  
和子 さん



仲原 征二 さん (船津区)  
千鶴子 さん



井芹 雅明 さん (船津区)  
クミ子 さん



濱村 春實 さん (府領区)  
セツコ さん



野々口 俊治 さん (府領区)  
ノリコ さん



井出 勝博 さん (府領区)  
昭子 さん



森口 政人 さん (津志田区)  
敏美 さん



中川 弘道 さん (早川区)  
憲子 さん



大隈 護 さん (早川区)  
博子 さん



大隈 徳雄 さん (早川区)  
美恵子 さん



谷頭 芳美 さん (中早川区)  
操 さん

※ご希望の方のみを掲載しています。



渡辺 行雄 さん (山出区)  
千代子 さん



本田 政武 さん (早川区)  
榮子 さん



◀熊本農業高校のハウスで作物の特徴や育て方について学ぶ生徒たち

## 8月20(木)～21(金) 甲佐中生徒が農業体験学習

### 甲佐町産業後継者育成対策協議会



▲ウインナーづくりに挑戦する生徒たち

#### ●農業に触れて未来の後継者を育てる

甲佐町産業後継者育成対策協議会（宮本修治会長）では、後継者育成支援対策の一環として、甲佐中学校（加藤敬之校長250人）生徒を対象に毎年、農業体験学習を開催しています。

8月20日（木）～21日（金）に開催された同学習会には、同中1年生14人が参加し熊本農業高校（熊本市南区）と熊本農業大学校（合志市）などを訪れました。

1日目は、熊農高では、作物のハウスなどを見学し、農

業大学校では、施設の見学、果物摘み取りや糖度測定などを体験。畜舎では、乳牛について学習した後、子牛のミルクやりを体験したり、散歩を楽しんだり、家畜と触れ合いながら畜産の魅力を学びました。その後、JA熊本教育センター（合志市）では、農協の仕組みや食の大切さを学習しました。

2日目は、西原村の阿蘇ミルク牧場で加工食品づくり体験「手づくりウインナー」に挑戦。材料のひき肉をこねる作業から、ヒツジの腸に肉を詰めてウインナーの形に仕上げの工程までを体験しました。また、集団行動や宿泊を通して、集団生活におけるマナーやルールの大切さも学びました。

この体験を通して農業の魅力を感じた野仲健太郎くん（上早川四区）は、「農業の楽しさや大切さを学びました。自分も大きくなったら農業をしたいです」と感想を述べました。

# 郷土の環境を守って、快適な暮らしを次代へ引き継ごう

## こうさ環境フェア2015・くまもとみんなの川と海づくりデー

### ●環境保全に取り組み きっかけを作るフェア

9月19日(土) 町生涯学習センターで、こうさ環境フェア2015が開催されました。

環境問題に関心を持ち、環境保全の取り組みを実践するきっかけを作ることを目的に、町と町教育委員会が主催し、約120人が参加。講演や展示、スタンプラリーなどが行われました。



▲浄化槽に関するブースで学ぶ来場者たち

### ●環境に関する表彰

講演会の後には、平成27年度環境教育啓発作品とグリーンカーテンコンテストの表彰式が開催され、入賞者が表彰されました。

環境教育啓発作品コンクールは、町教育委員会が主催。みどり川の絵コンクールの部に218点、緑川環境美化標語の部に224点の応募がありました。

▼特選受賞者(敬称略)  
○みどり川の絵コンクールの部  
宮崎雄矢(龍野小1年・下横田区)、鹿耳俊希(白旗小2年・早川区)、菊地こころ(龍野小3年・下横田区)

○緑川環境美化標語の部  
舛田海菜(乙女小4年・府領区)、中川一樹(白旗小5年・糸田区)、田上美悠(龍野小6年・中横田区)

グリーンカーテンコンテストは、自然のカーテンを作り、日差しを遮ることで節電を図るために、町が主催しました。

▼最優秀受賞者(敬称略)  
○家庭部門  
松本茂(船津区)  
○事業所部門  
乙女小学校

### ●みんなの川と海を守る ための清掃活動を実施

9月5日(土) 平成27年度「くまもと・みんなの川と海づくりデー」緑川流域一斉美化清掃活動が実施されました。

同活動は、県、県教育委員会、甲佐町緑川流域美化活動推進協議会などが主催。県内の川と海を清掃活動などを通して守り、健全な姿で次代に引き継ぐことを目的に、毎年県下一斉清掃活動が実施されています。

### ●町内の緑川流域にも多くの参加者が集合

町内では、甲佐中学校(加藤敬之校長250人)と甲佐高校(山下由美校長136人)の生徒128人を含む地域住民など約250人が参加しました。



▶緑川の河川敷で清掃を行う参加者

早朝から行われた清掃活動では、中甲橋グリーンパーク、麻生原運動公園、津志田河川自然公園、安津橋周辺の4会場で、紙くずや空き缶、空き瓶、たばこの吸い殻、不法投棄された家具や家電などのごみを回収。町内全体で約210kgを回収しました。



▼奥名町長から祝状を受け取った100歳到達者の田上カヅメさん（写真中央）



贈呈では、奥名克美町長が各到達者を訪問し、内閣総理大臣からの祝状と記念品を伝達。町と甲佐町社会福祉協議会（奥名克美代表）からの祝金も贈りました。

奥名町長の訪問を受けた田上カヅメさんは（写真中央）、「皆さんに祝っていただいてとても嬉しいです」と話しました。

## 100歳おめでとうございます

平成27年度100歳到達者に祝状などを伝達

9月25日（金）本町での平成27年度の100歳到達者（大正4年4月1日〜大正5年3月31日生まれ）に祝状などが贈呈されました。

今年度の到達者は、井芹ミヨキさん（船津区）、桑原チトさん（南三箇区）、佐藤義治さん（仁田子区）、志垣光女さん（町内施設入所）、田中艶子さん（中横田区）、田上カヅメさん（岩下二区）、塚本アヤ子さん（熊本市南区施設入所）、寺本ツギさん（町内施設入所）、野仲富子さん（同）、古住ツヤ子さん（同）の男性1人と女性9人で、合わせて10人（あいうえお順）。

## 充実した長寿を目指して

村上諫さん（下豊内区）がエイジレス章を受賞

9月24日（木）町役場でエイジレス章伝達式が開催され、村上諫さん（下豊内区）に賞状と記念の楯が伝達されました。

同章は、年齢にとらわれず自らの意思と能力を生かし自由な生活を送ることや社会参加活動を行う高齢者を内閣府が表彰するもの。

村上さんは、長年に渡って生け花の講師を務め、子どもたちへの伝統芸能継承に力を注ぎ、自身が所有する農地を活用して地元小学校の農業体験を実施するなど地域に根差した活動に取り組んだことで受賞されました。



▲地域での長年の社会活動への取り組みで表彰された村上諫さん



◀師富副町長から賞品を受け取る大森和代さん

## 利用者累計35万人突破

町安津橋健康広場グラウンド・ゴルフ場

8月26日（水）町安津橋健康広場グラウンド・ゴルフ場「グリーンパール甲佐」で、累計35万人目の利用者に記念品が贈呈されました。

同施設は、地域住民の健康増進とスポーツを通じての触れ合いと交流の促進を図ることを目的に、平成13年9月に利用開始され多くの人に利用されています。35万人目の利用者である大森和代さん（熊本市西区）に師富省三副町長が記念品を贈呈。週3・4回、夫と同施設を利用しているという大森さんは「健康のために朝一番に来て、2人でプレイを楽しんでいます」と話しました。

## 地域に愛される新校舎へ

9月7日（月）甲佐中学校落成式

9月7日（月）甲佐中学校で、新校舎等落成式が開催されました。

年月の経過による老朽化と耐震力不足などの理由で、平成23年から校舎、体育館・プールの改築工事を開始。同24年4月から新校舎の一部と旧校舎が併用で供用開始となり、同26年度からすべての施設の供用が始まりました。

式典では、奥名克美町長が「生徒の皆さんにはこの校舎で大きな夢と希望を抱いて、勉強やスポーツに励んで欲しい」とあいさつしました。



▲平成26年供用開始の体育館で開催された落成式



▲紙コップで幼虫をホタル池に放流する児童たち

## ホタル舞う里を夢見て

龍野小児童とたつのホタル会が幼虫を放流

9月10日（木）龍野小学校（佐藤浩介校長132人）の4年生（浦本敬史教諭24人）がホタルの幼虫を放流しました。同小では、環境学習の一環としてホタルの飼育を実施。児童たちに環境保全や命の大切さを学んでもらうことを目的に、竜野地区の地域住民で結成された「たつのホタル会」（金森徹会長）の指導の下、ホタルを卵から幼虫、成虫になるまで育てる取り組みを行っています。休耕田を利用して同会がホタルのすみやすい環境を整備した「ホタル池」に、約3リットル程度に成長した幼虫を放流。児童たちは「来年、またたくさん光ってほしい」と笑顔で話しました。

## 童話ではぐくむ児童の心

9月4日（金）平成27年度町童話発表会



▲町内の各小学校から8人の児童が出場した町童話発表会。最優秀賞は大瀧さん（前列右から2番目）と北さん（同4番目）が受賞

9月4日（金）乙女小学校で平成27年度町童話発表会が開催されました。

同大会は、児童が童話に親しんだり創作活動を活発にしたりする機会を設けることで、読書意欲の向上を図り、豊かな人間性を育成することを目的に、町教育委員会と町公民館が主催。町内の各小学校から選ばれた8人の児童が出場し、乙女小（上杉奈緒子校長114人）の児童や保護者、地域住民などの聴衆の前で、それぞれに個性の光る表現力豊かな発表をしました。

審査員は、童話の内容を理解し聴き手に分かりやすく表現されているかななどを、総合的に審査。最優秀賞には、『クワガタと少年』（大村あつし著）を発表した大瀧結衣さん（龍野小6年・上早川二区）と『ともだちひきとりや』（内田麟太郎著）を発表した北ほのかさん（乙女小3年・和田内区）が選ばれました。

同10日（木）に郡大会に出場した大瀧さんは最優秀賞に選ばれ、10月3日（土）に熊本市で開催される県大会に出場します。

## 農業

### 農機具導入補助の要望を受け付けます



詳しくは町産業振興課にお問い合わせください。

#### ■平成28年度新規要望を受付

町では、平成28年度甲佐町農機具導入補助に伴う新規要望を次のとおり受け付けます。

申請期限までに提出書類をそろえて、町産業振興課にご提出ください。

#### ●申請期限

10月26日(月)

#### ●提出書類

- ・要望調査表(町産業振興課に備え付けてあります)
- ・参考見積書
- ・導入する農機具のカタログ

#### ●対象要件など

##### 【補助率】

補助対象経費の10分の4以内(280万円を上限とする)

#### 【補助対象事業者】

- ・町内で農業を営む生産者集団(受益戸数は3戸以上で、認定農業者を1戸以上含む)
- ・農業生産組合
- ・集落営農組織
- ・農業生産法人など(農業経営を行う法人)

#### 【補助対象内容】

- ・農業経営に必要な農業機械およびその周辺機器(農業用施設は対象外です)

#### 【要件】

- ・県特定高性能農業機械導入計画における農機具の機種ごとの利用規模に見合った性能であること
- ・対象事業者の組織および運営の規約の定めがあること
- ・導入機械の事業費が1機種30万円を超えていること
- ・導入機械に稼働実績がないこと
- ・次期機械更新のための更新準備金として、積立を実施する組織であること

#### ▼提出・お問い合わせ先

町産業振興課

☎096・234・1176

(内線154)

✉klg207@town.kosa.lg.jp

町産業振興課 ☎096-234-1176(内線 154) ✉klg207@town.kosa.lg.jp

## 国民健康保険

### ■適切な受診で医療費を削減

柔道整復師(接骨院・整骨院)・鍼灸師(はり・きゅう・マッサージ)の施術を受ける際には、保険証が使える場合と使えない場合があります。

事前に症状を確認し、正しく施術を受けましょう。

#### ●保険証が使えない場合

- ▼接骨院・整骨院
- ・内科的原因によるものや慢性的な症状(単なる疲れや肩こりなど)がある場合
- ▼はり・きゅう
- ・医師の同意書がない場合
- ・同じ症状に対して医療機関で治療を受けている場合
- ・あんま・マッサージ
- ・医師の同意書がない場合

- ▼あんま・マッサージ
- ・医師の同意書がない場合

### ■施術を受ける時の注意点

・疲労回復や慰安が目的の場合  
国民健康保険の医療費は、国民健康保険税や被保険者の自己負担でまかなわれています。不適切な受診は医療費の無駄遣いにつながりますので、1人1人が保険証の使える範囲を正しく理解し、適切に受診していただくようご協力をお願いいたします。

#### ①原因を正しく伝える

接骨院・整骨院で施術を受ける場合、外傷でない場合は保険が使えませんので、柔道整復師に負傷の原因を正しく伝えましょう。

#### ②施術期間が長期にわたる場合は医師の診断を受ける

③「療養費支給申請書」の内容をよく確認する

整骨院などで施術を受けた際には、「療養費支給申請書」への署名が必要で、負傷原因、傷病名、日数、金額などの内容を確認した上で署名しましょう。

#### ④領収書を必ず受け取る

金額に間違いがないか確認しましょう。また、医療費通知書が届いたら内容を確認し、不明な点は町住民生活課窓口までお問い合わせください。

### 適切な受診で医療費の無駄遣いを防ごう



対象要件などを確認の上、申請してください

住民生活課 ☎096-234-1113(内線 106) ✉klg204@town.kosa.lg.jp



国民年金

国民年金の納付免除・若年者納付猶予制度



詳しくは町住民生活課にお問い合わせください

■国民年金保険料には免除・猶予制度があります

国民年金保険料の納付が経済的に困難な場合、保険料の納付が「免除」または「猶予」される制度があります。免除・猶予を受けることで年金受給権（老齢・障害基礎年金など）が確保できます。

①免除（全額・一部免除）申請

本人、配偶者、世帯主の前年の所得（過去の年度分については、その前年度所得など）が一定額以下の場合や失業などの理由がある場合、申請により全額免除または一部免除となります。

※配偶者については、別居中や生計同一でない配偶者も含まれます。

※一部免除の場合、納付すべき保

険料を納付しないと免除が無効になり未納期間となりますので、納付期限までに納めましょう。

②若年者納付猶予申請

30歳未満（学生を除く）で、本人・配偶者の前年などの所得が一定額以下の場合に、申請により納付が猶予されます。

■申請時の注意点について

▼免除などが申請できる期間

過去期間は申請書が受理された月から2年1か月前まで、将来期間は翌年6月まで申請することができます。

ただし、1枚の申請書で申請できるのは、7月から次の年の6月までの12か月となりますので、必要に応じて複数の申請書の提出が必要です。

※過去期間は2年1か月前まで申請できますが、申請が遅れると万一の際に障害年金などを受け取れない場合がありますので、速やかに申請してください。

▼必要書類

年金手帳、印かん  
 ※失業で免除申請するときは、失業を確かめることができる雇用保険受給資格証、雇用保険被保険者離職票などが必要です。

男女共同参画

■10月3日（土）男女共同参画啓発イベントを本町で開催

10月3日（土）町生涯学習センターで、郡内5町による男女共同参画についての共同啓発イベント「男女共同参画を考えよう！第4回上益城大会inこうさき」を開催します。

この啓発イベントは、上益城地域における男女共同参画社会について多くの人に周知するとともに、事業に対して積極的な参加を促すことを目的としています。

入場料無料で事前申し込みも不要ですので、ご家族、お友達などお誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

10月3日（土）開催 男女共同参画イベント



懇話会による男女共同参画啓発寸劇の一場面

■懇話会で男女共同参画社会をテーマにした寸劇を披露

同イベントで、甲佐町男女共同参画社会推進懇話会では、男女共同参画社会の推進のための寸劇を披露するために、練習に励んでいます。

寸劇のテーマは『夫の変身』。登場人物は、定年退職後の夫とその妻。夫は、妻にごみ出しを頼まれても「恥ずかしいから行きたくない」の一点張り家事を全く手伝いません。ところが妻のけがをきつかけに、ごみ出しに行くことになりました。そこで近所の人々の話を聞くうちに、夫の心情に変化が現れてきます。

また、劇中には女性だけでなく、男性も何気ない一言で傷つけられているという場面もあります。ここでは、夫婦間の会話でやみくもになつていますが、男女共同参画は、女性の問題だけでなく、男女の人権のためのものでもあることを皆さんに再確認していただきませう。この寸劇で男女共同参画のすべてを語れるわけはありませんが、「できることから始めよう」というメッセージを皆さんに伝えていきます。

町住民生活課 ☎096-234-1113（内線 104） ✉klg102@town.kosa.lg.jp

町総務課 ☎096-234-1140（内線 222） ✉klg202@town.kosa.lg.jp

### Library Information

#### 図書室からのお知らせ

##### ■本の入荷について

図書室では、毎週新刊本や話題の本など、新しい本を入荷しています。

本のリクエストについても、図書室カウンターにて受け付けています。皆さんの読みたい本や気になる本などがありましたら、お知らせください。

また、お探しの本などがありましたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

● 図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先  
町生涯学習センター図書室  
☎096-234-2447(内線331)  
✉klg110@town.kosa.lg.jp

#### 替え玉の総理が国民のために挑む 中山 七里著 / 『総理にされた男』



NHK 出版  
小説

総理大臣に瓜2つの容姿とものまね芸で、密かに話題を集めていた売れない舞台役者・加納慎策は、総理の「替え玉」というとんでもない密命を受ける。国民の切実な願いを置き去りにした、不条理な状況に直面した彼が「総理」として挑んだ先には…。予測不能な圧巻の展開と、スカッとする読後感がたまらないおすすめの本1冊です。

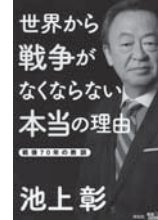
#### 大切な「いのち」について学ぶ本の のびみ作 / 『ママがおばけになっちゃった!』



講談社  
児童書

とつぜん、「おばけ」になってしまったママ。いちばん心配なのは4歳になる息子のかんたろうのことです。夜12時をすぎると、かんたろうの部屋に現れて…。切なくてホロリとしますが、思わずクスッとわらってしまうところもある、「いのち」の愛おしさがあふれる絵本です。テレビなどで紹介された話題の、大人にも読んでもらいたい本です。

#### なぜ「過ち」は繰り返されるのか 池上 彰著 / 『世界から戦争がなくなる本当の理由』



祥伝社  
一般書

第2次世界大戦から70年経つ今、2015年にも世界ではたくさん戦争が起こっている。なぜ、戦争は繰り返されるのか。本書では、戦争が生まれる理由から、日本と世界がどのように戦後を生きてきたのかを分かりやすく解説する。果たして日本は、戦争から得た学びをきちんと考え未来へとつなげていけるのか。読み応えのある1冊です。

#### 簡単・便利なレシピが盛りだくさん 柳沢 英子著 / 『やせるおかず作りおき』



小学館  
教養・娯楽

52歳で食事法のみで73kgから、1年後に26kg減の47kgに。料理研究家である著者が証明する、やせる食べ方のルールと、実際に食べていた「やせる作りおき」レシピを紹介。健康診断の数値も劇的に改善したというレシピは、男女、年齢問わないものですが、代謝が落ちてやせにくくなる50代以上の世代には、特におすすめしたい1冊です。

#### 町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

**私**は、ミステリーを読み始めて60年になり、オールドミステリーファンであると自認しています。しかし、最近のミステリーにはいささか不満を持っています。それは、物語の展開に関してアンフェアな点があると感じるからです。

例えば、謎解きの場面で「実は、双子の弟がいた」「秘密の抜け道があった」などと、それ

#### 今月の案内人



市下 克幸さん  
〔下横田区〕

までの展開には全く触れずに謎解きの場面で急に明かされる「伏線」。オールドファンは、作者の伏線

Read This Story!

～ My Favorite Story ～

#### 私のおすすめ図書

『東京帝大叢古教授』（門井 慶喜著）

語学・文学・史学など人文科学にも通じる“知の巨人”である主人公・宇野辺叢古（うのべえーこ）が連続殺人事件に遭遇、そして謎を追いかける。

を探りながら、作者は伏線に気付かれないように、というのがミステリーの醍醐味なのです。

今回紹介する「東京帝大叢古教授」はオールドファンを楽しませてくれる作品でした。明治時代を舞台に、殺人事件の謎解きと、作品の終末まで本名が明かされない主人公は誰かという2つの謎からなっています。殺人事件の謎解きはそれなりの出来栄と感じましたが、主人公



の素性が最後にあかされた時は「してやられた」と思いました。後で読み直すと主人公の素性は誰かということについての伏線は張られておりました。

久しぶりに作者にうまく「だまされた」と感じ、このようなミステリーが多く発表されることを望みます。

ぜひ、ご一読をお勧めします。

## Public Hall

### 町公民館からのお知らせと話題

#### ▶ 公民館主催講座

#### 郷土の歴史を訪ねて

- 開催日・集合時間  
10月22日(木) 午前9時30分集合
  - 集合場所  
町生涯学習センター
  - 見学場所  
世界文化遺産に認定された三角西港、ミカン狩り
  - 参加費  
昼食代 1,200円  
ミカン狩り代 500円
- ※雨天の場合は、戸馳花の学校(入場料300円)に変更あり。
- 定員  
25人
  - 参加申し込み期間  
10月7日(水) から
- ※定員になり次第締め切ります。

- 公民館講座や町民大学などに関する  
お申し込み・お問い合わせ先  
町教育委員会公民館事務局  
☎096-234-2447(内線321)  
✉klg110@town.kosa.lg.jp

#### ◀ 公民館出前講座 「熱中症について」

8月26日(水) 町民センターで、出前講座「熱中症と認知症」を開催しました。講師の町総合保健福祉センター・木村真澄保健師が、熱中症を主題に予防や応急処置について説明。



▲木村保健師から熱中症対策のポイントを学ぶ受講生たち

「衣食住の工夫での熱中症予防として、涼しい服装と、しっかりと食事を摂ること、エアコンなどを上手に

#### ◀ 公民館主催講座

#### 「魚のさばき方」講座

9月16日(水)、シニア世代の講座「魚のさばき方」講座を町総合保健福祉センターで開催しました。岩崎雅徳さん(割烹うおや料理長)を講師に受講生

使うことが重要です」と木村保健師からアドバイス。また、「涼しい場所への移動や水分の摂取、体を冷やすなどの応急処置は、早めに行うことで、重症化を防ぐことができます」と参加者へ説明しました。最後に、熱中症の症状に分けて詳しい説明があり、参加者は、ちよつとした変化に対応することで熱中症予防につながることを学びました。



▲講師の岩崎さんから魚のさばき方のコツを学ぶ受講生たち

と、なかなか思うようになりません。初めての男性もベテラン主婦も魚に向かって悪戦苦闘しました。その後、アジフライ用のさばき方や包丁の研ぎ方の説明もあり、男性の受講生は、「家でもたまには包丁を持って、練習します」と意欲いっぱいに話しました。

15人がアジの刺身用のさばきに挑戦。3枚におろしていく先生の鮮やかな手つきとは異なり、実際やってみ

## Human Rights

### 人権 ～心豊かに暮らすために～

#### ● 「子どもの人権」について

インターネットや携帯電話等が普及し、子どもたちの利用も増加しています。一方、それに伴い深刻な問題も起きています。私たちは、子どもの人権を守るためにどういったことに取り組むべきでしょうか。

私たち大人が子どもたちに伝えるべきことは何でしょう。子どもたちは、コミュニケーションの範囲が大人と比べて極端に狭いのが現実ですが、ネットを使うと把握すらできないくらいにその範囲が広がります。ネット上で起きる問題というと、

つい技術や機械の問題だと思いがちですが、携帯電話やスマートフォンはコミュニケーションの道具です。

私たち大人は、他者とコミュニケーションをとる際に最も大切なことは相手の人権を尊重することだと子どもたちに伝えることが重要です。機械や技術に惑わされることなく、私たちが培ってきた人権感覚で、子どもたちにあるべきコミュニケーションの姿を、今まで以上にしっかりと伝えるべきです。「豊かな人権感覚こそがネット社会を生きる上で

のパスポート」だと思います。そして、現実の世界の中で他者の

痛みがわかるような子どもであってほしいと思います。顔をつきあわせ、相手の息づかいを感じながら、実際に語り合い、笑い、様々なことを分かち合えるような豊かな人間関係を築くことで、ネット上でも正しい振る舞いができるようになってくると思います。

～熊本県人権情報誌

『ココロ通信 Vol.30』より～

- 人権に関するお問い合わせ先  
町教育委員会社会教育課  
☎096-234-2447(内線324)  
✉klg110@town.kosa.lg.jp

# 10月9日（金）午後1時～4時 町役場で献血にご協力ください

## ◆献血についてご存知ですか

医療技術の進歩がめまぐるしい現在でも、血液を人工的に造ることはできません。血液は、人工的に造ることができない細胞によってできているからです。そのため皆さんのご厚意・ご協力による献血が必要です。

献血された血液は、病気の治療や手術などで血液が必要な人に使われます。しかし、血液には生きていく細胞が入っているため、長期の保存はできません。また、献血された血液を輸血に使用できる期間も決まっています。

血液は、「血漿（けっしょう）」（液体成分）と「血球（けつきゅう）」

で出来ており、自分の血液を輸血などのために無償で提供することを献血と言います。

献血には、血液のすべての成分を採血する「全血献血」と、血液中の血漿や血小板だけを採血する「成分献血」があります。

## ◆命を支えるための献血

1日当たり全国で約3,000人、1年間で約120万人の命が輸血によって救われています。そして、この命を支えるために1日当たり約1万4,000人、1年間で約525万人の献血が必要です。毎日24時間、いつでも病院に血液を届けるために、多くの人の協力が必要です。

# あゆみだより 献血の話

このコーナーでは、毎月、町総合保健福祉センター職員である保健師、社会福祉士などが、健康や福祉、介護、健康診査などに関する情報をリレー形式でご紹介します。



今月の「あゆみだより」は  
**岩永 一寿 社会福祉士**

私たちの体に必要不可欠である血液は、「献血」でしか調達することができません。10月9日（金）町役場に献血ルームを開設します。皆さんの善意でだれかの尊い命が救われるかもしれません。ぜひ献血にご協力ください。

## ●献血方法別の採血基準

項目	全血献血		成分献血	
	200㍓リットル	400㍓リットル	血漿	血小板
年齢※	16～69歳	男性 17～69歳 女性 18～69歳	18～69歳	男性 18～69歳 女性 18～54歳
体重	男性	45㍓以上	45㍓以上	
	女性	40㍓以上	40㍓以上	

※65歳以上の人の献血については、献血する人の健康を考えて60～64歳の間に献血経験がある人に限られます。

## ●県内献血者の状況

平成25年度に県内で献血を行った人の約7割は30～50代です。10代は5・4割、20代は17・5割と若い世代の献血者が少ないことが分かります。

さらに実献血者のうち、献血回数が年に1回の人は約7割です。全血献血の基準では、男性は年に3回、女性は年に2回献血ができます（全血献血と成分献血では、次回までの期間が異なります）が年に1回のみの方が多いたことが現状です。

## ●献血はだれでもできるの？

献血は16～69歳までの人がご協力をいただけませんが、献血者の健康を守るために方法別に採血判断基準を設けています。

また、降圧剤などを服薬中の人でも服薬の基準の見直しにより、献血ができる場合があります。服薬中の人はお薬手帳を準備の上、献血会場へお越しください。

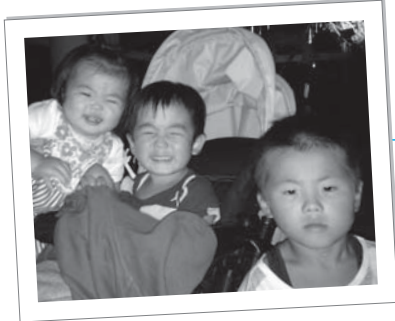
## ◆献血後の通知について

日本赤十字社では、献血をした方へ7項目の生化学検査成績と8項目の血球計数検査成績のお知らせをしています。過去4回分の検査結果が表示されるので、ご自身の健康管理の基準としても活用できます。

10月9日（金）午後1時～4時町役場で献血にご協力ください。

## Smile

わが家の“笑顔”をご紹介します



古田 茉琴ちゃん (1歳)  
 一翔くん (3歳)  
 堅晟くん (5歳)

父・昭憲さん 母・良子さん  
 (大町区)

みんな仲良く♡

★お子さんの成長の記念として、“笑顔”の写真を『広報こうさ』紙面に飾ってみませんか？写真掲載のお申し込みは、町総合保健福祉センターまで。

●お子さんの“笑顔”の写真掲載に関するお申し込み・お問い合わせ先 町総合保健福祉センター

☎096-235-8711

✉klg113@town.kosa.lg.jp

## 10・11月の保健活動

●会場 町総合保健福祉センター

### + 4か月児健診

10月15日(木) 午前9時

11月19日(木) 午前9時

### + 7か月児健診

10月15日(木) 午前10時

11月19日(木) 午前10時

### + 10か月教室

10月2日(金) 午前9時30分

### + 1歳6か月児健診

11月10日(火) 午後1時

### + 2歳子育て相談

11月13日(金) 午前9時30分

### + 3歳児健診

11月10日(火) 午後1時20分

### + BCG予防接種

11月17日(火) 午後1時30分

## Child-Care

### 10月の子育て支援カレンダー

#### ○ 甲佐保育園 ☎096-234-0186

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

#### ○ 若草保育園 ☎096-234-0013

2日(金) ミニ運動会に参加

16日(金) 芸術の秋だ！絵を描こう

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

#### ○ 竜野保育園 ☎096-234-0519

11日(日) 運動会

16日(金) 誕生会

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

#### ○ 乙女保育園 ☎096-234-3947

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

#### ○ 緑川保育所 ☎096-234-0789

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

#### ○ 地域子育て支援センター (竜野保育園内) ☎096-234-0305

2日(金) 親子で読書

5日(月) 小麦粉粘土遊び

7日(水) ブロック遊び

9日(金) 戸外遊び(砂場)

14日(水) 積み木遊び

16日(金) お誕生会(要予約)

19日(月) 製作遊び

21日(水) 散歩(どんぐり拾い)

23日(金) ままごと遊び

26日(月) 戸外遊び

28日(水) 散歩(牛舎見学)

30日(金) おやつ作り

育児相談(電話・面接)  
 月～金曜日 午前9時30分～午後4時  
 体験保育  
 月・水・金曜日 午前9時30分～正午

●健康や福祉、介護、健康診断などに関するご相談・お問い合わせ先

・町総合保健福祉センター

・町地域包括支援センター

(町総合保健福祉センター内)

☎096-235-8711

✉klg113@town.kosa.lg.jp

●行事などに関する詳しい内容は、各園に直接お問い合わせください。



お問い合わせ先一覧

- 町役場  
☎096-234-1111 (代表)
- 町教育委員会  
(町生涯学習センター)  
☎096-234-2447 (代表)
- 町総合保健福祉センター  
☎096-235-8711
- 町水道管理センター  
☎096-234-0755
- 町民センター  
☎096-234-2459
- 町学校給食センター  
☎096-234-0255
- 町老人憩いの家  
(紺甲佐町社会福祉協議会)  
☎096-234-0423
- 御船町甲佐町衛生施設組合  
(クリーンセンター)  
☎096-282-0688
- 上益城消防署  
☎096-282-1955
- 御船警察署  
☎096-282-1110
- 上益城広域連合  
☎096-237-2891
- 県上益城地域振興局  
☎096-282-2111 (代表)
- 県御船保健所  
☎096-282-0016
- 県庁  
☎096-383-1111 (代表)

お知らせ

10月19日(月)～25日(日)  
秋の行政相談週間

10月19日(月)～25日(日)は、秋の行政相談週間が全国一斉に開催されます。

町では、特設行政相談所を開設します。行政に対するご意見や困っていることなど、お気軽にご相談ください。

日時 10月21日(水)午前9時～正午

会場 町総合保健福祉センター

相談員

行政相談委員 藤本玉留さん(仁田子区)

お問い合わせ先

☎096・2334・1113 (内線102)

✉k1g10@town.kosa.lg.jp

高齢者のインフルエンザ予防接種のお知らせ

町総合保健福祉センターでは、高齢者のインフルエンザ予防接種を実施します。

インフルエンザの流行は、通常1月上旬～3月上旬が中心です。ワクチン接種の有効性を高めるためには、流行前の10月～12月中旬までに行うことが重要です。

接種期限 12月28日(月)

対象者

- ① 接種時で満65歳以上の人
- ② 満60歳から65歳未満の人で、心臓・腎臓・呼吸器などの障がい有する人

接種回数および料金

1人1回 2,000円

実施医療機関

- 町内医療機関(荒瀬病院・小屋迫医院・桃崎整形外科・谷田病院)
- ※町外の医療機関での接種を

希望する人は、町総合保健福祉センターでの接種前の手続きが必要です。

お問い合わせ先

☎096・235・8711

大切な動物を守るために 防災準備を学ぼう

上益城郡動物愛護推進協議会では、動物愛護月間事業の一環として公開講座を実施します。

いざというときのために、自分でできる防災準備と被災現場の実情をお教えします。

日時

11月8日(日) 午後2時～午後4時

※受付 午後1時

会場 嘉島町民会館2階会議室

講師 西川真里子(がんばれ動物クラブ代表)

内容

- ・「東日本大震災に学ぶ防災準備くペットの同行避難く」
- ・災害に対する心構えと防災準備
- ・同行避難所での生活と災害時の動物救護
- ・被災動物にまつわるトラブルと回避のための備え

お問い合わせ先

☎096・282・0062

上益城郡動物愛護推進協議会

小規模事業者(製造業)の人材育成支援を行います

県では、小規模事業者(製造業)の人材育成を支援するため、専門的知識を持ったコーディネーターを配置し、人材育成のさまざまな相談に無料で応じる事業を開始しました。

高い技術を持つ講師を企業に派遣して、技術指導を行う人材育成も実施しています。

日曜当番医

月日	当番医	電話番号
10月4日	谷田病院	☎096-234-1248
10月11日	甲佐眼科	☎096-235-5600
10月18日	荒瀬病院	☎096-234-1161
10月25日	谷田病院	☎096-234-1248

町税などの滞納処分(8月分)

種別	件数・金額など
捜索	0件
差し押さえ件数	14件
交付要求	0件
取立・公売代金	60,807円

古きを訪ねて甲佐町を知る

## 甲佐町の文化財探訪 ～第27回～

「境平三郎翁壽碑」 清村一男 町文化財保護委員（下豊内区）

旧宮内小学校正門の右奥には、昭和6年11月10日に建立された「境平三郎翁壽碑」が建っている。



▶旧宮内小に残る境平三郎翁壽碑

碑文にはこのように記されている。

境平三郎翁は、嘉永6年9月2日坂谷の広

瀬に生まれる。

幼少のころ父を亡くし、祖母に養育される。15歳で家計を支え、特に緑川に着目し筏（いかだ）を淀淵より川尻に運び財を得る。朝早くから取り掛かり、日が沈む頃に家に着き、また翌日の準備に当たる。これを、十年一日の如く誠実にあたり地域の信頼を得る。他に材木商、営林業等で富を得る。

21歳の時、火災に遭い全てを

失うが、質素な暮らしと実行力で見事再建し、翁の強い意志と実行力に地域の人は驚嘆する。

24歳で結婚、内助の力を得る。明治22年、入江小学校建築や社会福祉にも多額の献金をし、村会議員、郡会議員、学務委員、益城銀行重役などの公職も務める。

最大の功績は、現在の県道甲佐三本松線の開通に心血を注がれたことと思う。郡会議員の立場から、道路の必要性を県に訴え実現。大正8年8月起工、昭和6年竣工。必要性を訴えるだけでなく、自らも多額の寄付をされている。

碑文を読むと、翁は旧宮内村の産業や交通、そして教育面に大きな功績を残し、村の基礎を築かれた人と言う事が出来る。

激変する社会であるが、宮内村の発展に寄与された方の存在を忘れることはできない。

■お問い合わせ先 町教育委員会社会教育課

☎096-234-2447（内線322） ✉klg110@town.kosa.lg.jp

県労働委員会は、労働条件

### 労使紛争解決のための お手伝いをします

☎096・2289・2438

詳しい内容につきましては、お問い合わせください。  
▼お問い合わせ先  
（公財）くまもと産業支援財団

派遣社員の人などもご利用い

りません。労働者、事業主のどちらでも申請でき、正社員に限らず、パート従業員や

手続きは簡単で、費用は掛

かっています。労働者、事業主のどちらでも申請でき、正社員に限らず、パート従業員や派遣社員の人などもご利用いただけます。

分

・開催日時  
10月6日（火）午後1時30

参加ください。

ただけます。ぜひお気軽にご相談ください。また、紛争解決制度などを紹介する「労使関係セミナー」も開催します。ぜひご

☎096・234・1140  
（内線224）  
✉klg102@town.kosa.lg.jp

▼お申し込み・お問い合わせ先  
町総務課

（9月15日現在）

▼平成27年度寄附金額合計  
310,000円

・高崎健太郎様 神奈川県  
ほか1名様

▼ご寄付いただいた皆様  
お名前 住所

「ふるさと甲佐応援寄附金」  
にご協力いただき、誠にありがとうございました。

町では、心温まるご好意を町の振興のために大切に使用していただきます。引き続き、多くの皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## おれ

県労働委員会  
☎096・3333・2753

▼申請・お問い合わせ先

県庁地下大会議室  
受講料は無料ですが、事前に申し込みが必要です。詳しくは、県労働委員会へお問い合わせください。

・会場

environmental preservation

### クリーンセンターへのごみ搬入量（8月分）

種別	搬入量	前月比較	前年比較
可燃ごみ	217,430	1,400	16,650
資源ごみ	29,960	3,930	790
粗大ごみ	4,980	500	△160
合計	252,370	5,830	17,280

※単位・㎡

traffic safety

### 交通事故件数

種別	発生件数	前年比較
事故件数	14	(5)
死者	0	(0)
傷者	18	(7)

9月16日現在（カッコ内は前年比較）

fire prevention

### 出動火災件数

種別	発生件数	前年比較
家屋	1	(0)
原野	1	(△3)
その他	0	(0)
合計件数	2	(△3)

9月15日現在（カッコ内は前年比較）

## e 開催

差し押さえ動産の  
公売会を開催します

県南合同公売会を10月17日(土)に美里町で開催します。  
税金は町にとって大切な財源であり、納税は国民の義務です。

現在、町では町税の滞納者に対し、家宅搜索や預金調査などを行い、財産の差し押さえを実施しています。差押財産は公売して、滞納税に充てられます。

今回、税金滞納者から差し押さえた動産を公売する合同公売会を次のとおり実施します。

▼開催日時  
10月17日(土) 午前9時開場

▼会場  
美里町総合体育館

▼出品予定数  
約300品

▼準備物  
印かん、購入代金、運転免許証などの本人確認ができるもの、委任状(代理人が入札する場合)、同意書(入札者が未成年の場合)

※滞納者が滞納税を完納した場合、予告なく公売中止になることがあります。

▼お問い合わせ先  
町税務課

☎096・234・1112  
(内線113・114)

✉k1g203@town.kosa.lg.jp

無料の歯科健診および  
相談会を開催します

上益城郡歯科医師会では、無料の歯科健診および相談会を開催します。

来場者全員に、歯ブラシや歯磨き粉などの景品を無料で贈呈します。ぜひご来場ください。

▼開催日時

10月25日(日) 午前9時～午後4時

▼場所

イオンモール熊本・イオン店內1階催事場

▼お問い合わせ先  
上益城郡歯科医師会

☎096・237・2370

10月25日(日) 開催  
「わかあゆ文化発表会」

甲佐中学校では、10月25日(日)に「わかあゆ文化発表会」を開催します。

例年行っている合唱コンクールに加えて、人権作文発表や英語暗唱、各学年の発表、吹奏楽部による演奏、ロボットコンテスト発表、コーラス、職員合唱

などを披露します。

▼お問い合わせ先  
町民の皆さんのご来場をお待ちしています。

▼開催日時

10月25日(日) 午前8時50分

▼会場

甲佐中学校  
お問い合わせ先

☎096・234・0689

「消防フェア2015」を  
イオンモール熊本で開催

上益城消防組合では、管内住民の皆さんの防火・防災意識の高揚と消防に対する意識を深めるために、上益城「消防フェア2015」を開催します。

▼開催日時

10月17日(土) 午前10時

▼会場

イオンモール熊本

▼イベント内容

消防車両展示、水消火器・煙体験、ボルトリング・ロープ渡り体験、救急法実演と指導、体力測定・健康相談、ぬり絵・ペーパークラフト、住宅用火災報知機防災物品展示、廃消火器無料回収(100本限定)、消防の絵画展、県防災消防ヘリコプター訓練と展示(午前11時～)など

詳しくは、上益城消防本部までお問い合わせください。

## e 募集

▼お問い合わせ先  
上益城消防本部

☎096・282・1969

緑川流域フォトコンテスト  
の作品を募集します

緑川流域広域連携事業実行委員会では、緑川流域フォトコンテストの作品を募集しています。緑川流域に位置する甲佐町・美里町・御船町・山都町で平成24年以降に撮影した写真で未発表のものであればどなたでも応募できます。

詳しくは、フェイスブック「マチナカよりイナカ」をご覧ください。

▼テーマ  
「発見! マチナカよりイナカのいいところ!」

▼撮影対象

緑川流域の甲佐町・美里町・御船町・山都町の自然、景観地、町並み、史跡、神社仏閣、祭り、伝統芸能など

▼募集期限

10月13日(火) 必着

▼応募規格・サイズ

カラー写真のみで四つ切または四つ切ワイド(A4版も可)  
※1人5点まで応募できます。

## Sports

### 第13回甲佐町夏季ビーチボールバレー大会結果



▶優勝のウィンウィンチーム

●フリーの部(全8チーム)  
優勝 ウィンウィン(田口)  
準優勝 ヒーローズ(白旗)  
3位 スーパーJIN(仁田子)  
敢闘賞 SUNLINE(龍野)



▶優勝のスイーチュチーム

●50歳以上の部(全4チーム)  
優勝 スウィートフィッシュ(上豊内)  
準優勝 横田  
3位 上早川ファイヤーズ

●期日 9月3日(木)・4日(金) ●会場 乙女小学校体育館 ●主催 甲佐町ビーチボールバレー協会(山下繁樹会長)



宮内地区敬老会

● 9月21日（月）  
宮内地区敬老会を開催



9月21日（月）宮内社会教育センター体育館で平成27年度宮内地区敬老会が開催されました。

宮内地区社会福祉協議会（西坂和洋会長）が主催。地域の高齢者など約100人が参加し、歌や踊りなどで楽しく交流しました。

地区の子どもたちによる踊りやひょっとこ踊りになども行われたりしたほか、最年長の参加者に贈られる「最高年齢賞」への表彰も行い、いつまでも健康で長生きできるように祝いました。

甲佐町総合型地域スポーツクラブ  
「I・YOU スポーツクラブ」  
10月のアユスポ・カレンダー



少年柔道  
和田拓也さん  
(下横田区)

「あったかいんだから」が見たい人は見に来てね♪

● スポンジテニス&バドミントン

甲佐中体育館 月曜日 午後7時30分

● 少年柔道

甲佐中武道館「甲心館」  
月・水・金曜日 午後7時

● 卓球

町生涯学習センター  
水・金曜日 午後7時30分  
第1・3土曜日 午後6時30分

● サッカー教室

緑川グラウンド 木曜日 午後7時  
甲佐小グラウンド 土曜日 午前9時

● バスケットボール教室

甲佐中体育館 火曜日 午後8時

● ジュニアバスケット教室

甲佐小体育館 土曜日 午前9時

■ お問い合わせ先

I・YOU(アユ)スポーツクラブ事務局  
(町教育委員会社会教育課内)  
☎096-234-2447(内線325)  
✉klg110@town.kosa.lg.jp

▼入賞発表  
フェイスブックなどで公表するとともに、入賞者には直接郵送にて通知します(10月下旬〜11月上旬予定)。優秀作品には、賞品が贈呈されます。皆さんのご応募をお待ちしています。

▼ご応募・お問い合わせ先  
緑川流域広域連携事業実行委員会  
☎0964・322・2113

新規就農を目指す  
研修生を募集します

県立農業大学では、新たに農業で生計を立てることや農産物販売を目的とした農業経営を目指す平成28年度新規就農支援研修生を募集します。

▼研修期間  
平成28年4月上旬〜12月上旬

▼研修内容  
●プロ農家養成コース  
・対象  
農業で生計を立てることを目指す人

●特別セミナー聴講コース  
・対象  
農業で生計を立てることを目指す人で特別セミナーのみの聴講を希望する人

・受講日  
原則毎月第4水曜日  
午後1時30分〜午後4時

・定員  
15人程度

農地を貸したい借りたい人を  
募集しています

農地中間管理機構(熊本県農業公社)では、農業経営を縮小する人から農地を借り受け、担い手農家などに貸し出しを行っています。

「地域の担い手農家に農地を貸したい」「良い農地があれば借りたい」という人は、市町村

お問い合わせ先  
県立農業大学  
☎096・248・6600

▼受講料  
無料(傷害保険料、教科書代、小農具、資料代などは受講者の実費負担)

▼申し込み期間  
12月4日(金)〜平成28年2月5日(金)

※郵送の場合は2月5日(金)当日消印有効です。  
募集内容などの詳しいことは、お問い合わせください。

▼お問い合わせ先  
県立農業大学

くらし安全

皆さんの悩みや不安は  
警察にご相談ください

10月11日(日)〜20日(火)は、「みんなであつこう安全・安心の街」をスローガンに、全国一斉の地域安全運動を実施します。

この運動は、地域住民、行政、各種団体、警察が連携して、犯罪のない安全で安心して暮らすことができる街をつくろうという運動です。

▼お問い合わせ先  
御船地区防犯協会連合会  
(御船警察署内)  
☎096・282・1110

やJ.Aの担当窓口、熊本県農業公社にご相談ください。

▼お問い合わせ先  
熊本県農業公社  
☎096・2113・1234

町生涯学習センター・ギャラリーモール展のお知らせ ~10月~

● 乙女小学校作品展

- ▶ 期間 10月1日(木)〜30日(金)
- ▶ 主催 乙女小学校
- ▶ 内容 乙女小児童による作品展

● お問い合わせ先 町教育委員会社会教育課 ☎096-234-2447 ✉klg110@town.kosa.lg.jp



クリ (麻生原)

うたごよみ 神無月

「短歌」

渡辺幸士 選

この夏の高校野球盛り上がり暑さも忘れ思い出となる  
緒方 明美

母上に採れたて西瓜半分を持参し行けば「何より」と言う  
清田ひで子

盆休みに孫の一家の墓参り遠い所を感謝して  
赤星 文子

山茶花の一枝しきりに動きいて雀遊ぶかちら  
森田 房恵

泣きながら母の後追う幼児に吾の幼時と重ねて見おり  
内田乃武子

早朝より風音強き台風早く去れよと寝床で祈る  
上村やす美

店は早や秋の売り出しマネキンは秋物を着る  
吉永由紀子

夏日のなかに  
塚原 暁益

朝も目覚めて  
塚原 暁益

夏祭り大輪咲かす花火師の苦労を思い枝に酔いたり  
池田キヨ子

独り身を和ます鳥の囀りに「来たのね今日も」と問い掛けてみる  
赤星 延子

嬰兒は吾と過ごせり今日ひと日満面の笑み見せ帰りゆく  
塚本 俊子

手入れ無く荒れ地と変わる畑中に白百合の花背高く咲く  
上村 かず

夫婦連れ犬連れで行く散歩道われはここに妻連れて行く  
渡辺 幸士

「川柳」

渡辺幸士 選

「うろうろ」

九十坂まだうろうろと生きている  
林 雅之

大型店うろうろ用事捗らぬ  
古閑チヨミ

うろうろと行く先決めず散歩する  
布田 愛子

ほろ酔いのパパはうろうろ縄暖簾  
清川みどり

「空気」

空気澄み今日も一日頑張るぞ  
森田千鶴子

和やかな空気に染まぬお邪魔虫  
本田長久子

人が住み空気いろいろ作り出す  
渡辺 幸士

「肥後狂句」

北川直美 選

そらそうね セネリックでん効くと良エ  
広田みどり

そらそうね お金じゃ買えんそれは愛  
下山 千恵

そらそうね 買わにや当たらん宝くじ  
志垣 光

そらそうね 頑張つと合格するが  
佐藤 葵

そらそうね 話のわかる人ですネ  
北畑 公美

そらそうね 地獄の沙汰も金だけん  
木村 陽菜

そらそうね 九十越えりや背も痛む  
布田かんな

そらそうね 年の功にはかなわぬ  
平井やよい

そらそうね 借りた金なら返さなん  
長原 産賀

そらそうね 一方だけが悪くない  
佐野しよう

そらそうね 蝉の泣く声変つたら  
光永 六

そらそうね 水に流して出直そか  
井元あざみ

そらそうね 鷹産みたいと願うても  
北川 直美

お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局  
096・234・2447 (内線321)

# ひとの動き (敬称略)

8月11日(火)～9月10日(木)

## birth お誕生おめでとう

住所	氏名	性別	保護者
豊内	溪村芽衣奈	女	亮太
下横田	林田瑛翔	男	昭子
仁田子	直井正史	男	仁志
豊内	福島大翔	男	貴弘
中山	坂澤真理奈	女	力生
横田	本田陽大	男	城光
糸田	林田大和	男	哲治
田口	上田咲幸	女	麻美
下横田	井出堅心	男	達也
仁田子	富永琉空	男	大地
緑町	川野旭牙	男	大介

## marriage ご結婚おめでとう

	住所	氏名
〔夫〕	益城町	中田 裕介
〔妻〕	上早川	五嶋 恵梨
〔夫〕	早川	入口 祥一
〔妻〕	水上村	坂下のぞみ
〔夫〕	田口	遠山 彰
〔妻〕	嘉島町	坂本 恵
〔夫〕	世持	志垣健太郎
〔妻〕	高森町	白石 彩
〔夫〕	田口	山下 祥平
〔妻〕	熊本市	田上 稚子

## condolence お悔やみ申し上げます

住所	氏名	年齢	世帯主
早川	山下 敏雄	91	敏雄
白旗	本田セツミ	86	龍治
仁田子	松本 忠義	81	盛夫
有安	緒方 壽	84	ハスエ
早川	宮本 節雄	78	修治
早川	寺本 栄子	61	勇次
上揚	中村 安子	89	安子
上早川	美濃田 恵	92	恵
小鹿	入江ムツエ	85	ムツエ
上早川	楠本 典生	59	典生
横田	福田 清子	97	清子

data 甲佐町の人口・世帯数		
項目	数	増減
男	5,294	6
女	5,903	△7
計	11,197	△1
世帯数	4,309	0

平成27年8月31日現在

## こうさの野菜で作ってみよう!



レシピ提供：料理研究家 沼田峰子さん（北原区）

## レンコンと豚肉の炒めもの

### 3存知ですか?

レンコンに豊富に含まれるビタミンCは水や熱に弱いのが欠点ですが、デンプンと一緒に摂取することでたくさんの量を摂ることができま

す。風邪予防や疲労回復、美肌効果、発ガン物質抑制が期待されるレンコン。栄養たっぷり自然の恵みを美味しく食べて健康な体をつくりましょう。



### 材料（4人分）

レンコン	100g
豚こま切れ	250g
ショウガ	親指大
濃口しょうゆ	大さじ2
酒	大さじ1
砂糖	小さじ1
ゴマ油	大さじ1

### 作り方

- ①ショウガは千切りにして、豚肉に塗し付けながら揉み込みます。
  - ②レンコンは、皮をむいて3cmほどの厚さのいちよう切りにして5分ほど水にさらしましょう。
  - ③フライパンにゴマ油を入れ熱したら、しっかりと水を切ったレンコンを入れ炒めます。
  - ④炒めたレンコンに①を加え砂糖を振り更に炒め、豚肉にしっかりと火を通しましょう。
  - ⑤酒、しょうゆで味を付けたら、最後に分量外のゴマ油をさっとひと垂らし加え、手早く混ぜたら出来上がりです。
- ※レンコンの切り方は、好みで大きく切ってもいいですよ。

### ☆良いレンコンの選び方

- ・表面の皮がぱりっとして、張りのあるもの
- ・全体に丸みを帯びたもの
- ・不自然に白っぽいもの

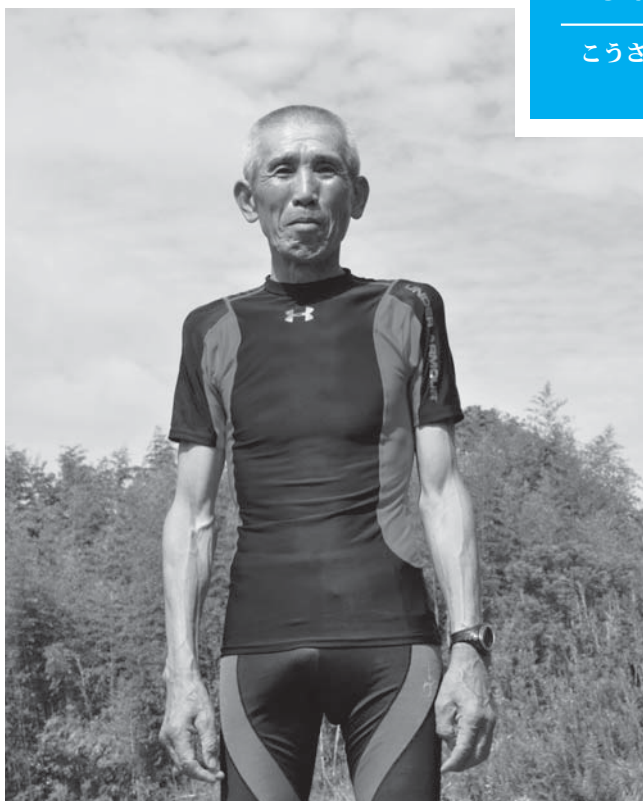
## 編集後記

「美りの秋」、「スポーツの秋」、「読書の秋」。秋は、四季の中でもいろんな顔を持つ季節ですが、皆さんはどんな「秋」をお過ごしでしょうか。

今月号のこうさスタイルでは、「スポーツの秋」を満喫している市民ランナーの坂本健次さんにお話を伺いました。

健康づくりの1つとして始めたマラソンは、「マイペースで長く続けることが大切。雨が降る日は休んで、晴れた日に走るくらいがちょうどいい」と坂本さんは語ります。

健康志向の今、ウォーキングする人をよく見かけますが、「ゆっくりでもジョギングをすれば、歩くよりも筋力が付くし脂肪も落ちるので、皆さんにぜひおすすめしたい」と坂本さん。「食欲の秋」に走っている私も「スポーツの秋」を楽しんで見ようと感じました。(み)



坂本 健次さん  
Sakamoto Kenji

〔上豊内区〕

さかもと けんじ / 市民ランナー。今年の県シルバースポーツ交流会70歳未満10<sup>キロ</sup>の部で43分51秒のタイムで優勝。全国大会への切符を手にする。

## ゆっくり自分のペースで 駆けることが健康への道

「健康維持のためには、長く続けて走ることが重要です。多くの皆さんに、無理せず走ることを楽しんでほしいです」と話すのは、市民ランナーの坂本健次さん（上豊内区）。

今年5月に開催された県シルバースポーツ交流大会の70歳未満陸上男子10<sup>キロ</sup>の部に出場し、43分51秒のタイムで優勝した66歳の坂本さん。「気軽に参加したことで、大会では良い成績が残せました」と

レースを振り返る。

35歳のときに、友達から町駅伝大会に誘われたのがマラソンとの出会い。「最初は走るのが恥ずかしかった」と懐かしむ坂本さんは、37歳のときに玉名市の横島いちごマラソンに出場し、10<sup>キロ</sup>を35分台で完走。すっかり走ることに魅力に取りつかれ、本格的に練習を始めて、さまざま大会に参加するようになった。

週2・3回、朝4時に起きて月間約200<sup>キロ</sup>は走るという坂本さん。「自分を追い込むタイプなので、以前は練習に力を入れ過ぎて体を壊してしまうこともありました」と、がむしゃらに走り込んでいた時期もあったが、60歳を過ぎてからは、「健康を意識して、ゆっくりと自分に合ったペースで楽しんで走ることを心掛けています」と話す。

「ゆっくりと20〜30分走ると、さらりとした気持ちのいい汗が出ます。ウォーキングよりも筋力がアップするので健康づくりにもおすすめて」とマラソンの魅力を語る坂本さん。今月17日（土）・18日（日）に山口県で開催される「ねんりんピックおいでませ！山口2015」の5<sup>キロ</sup>の部に県代表として出場する。「レースを通して、たくさんランナーと出会えることも楽しみます」とほほ笑む坂本さん。「まずは、完走することが目標。そして、レースでベストを尽くせるようにがんばります」と今日も笑顔で駆け抜ける。